

# ⚠ 警告 安全のために

## 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です  
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、  
24V車で使用すると火災などの原因となります。

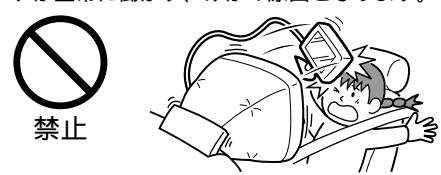


**前方の視界を妨げる場所に取り付けない**  
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



**助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける**

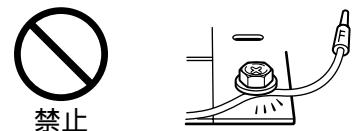
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。



**運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける**

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。  
・コード類はまとめる。  
・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



**雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない**

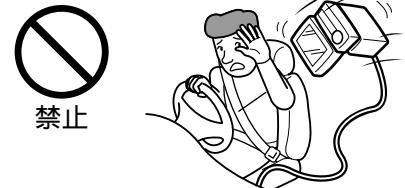
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり  
**自動車に損害**を与えることがあります。

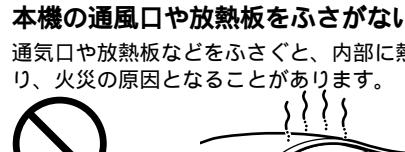
**安定した場所に取り付ける**

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



**付属の部品で正しく取り付ける**

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。



**本機の通風口や放熱板をふさがない**

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



SONY®

# モービルカラーTV

## 取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する  
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

正しい取付け 正しい操作で 安全運転

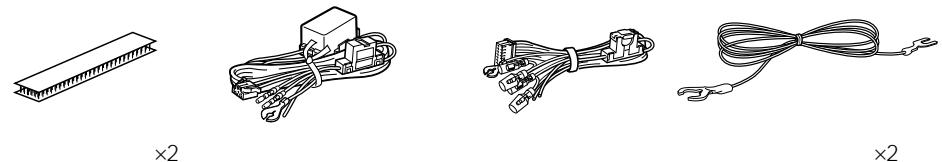


## XTL-75V

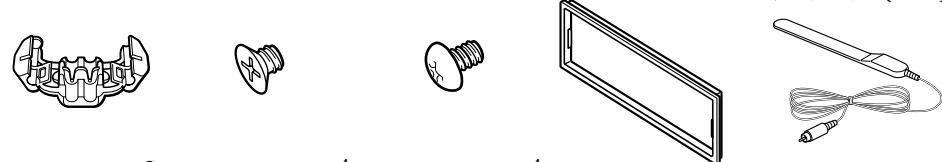
Sony Corporation ©1998 Printed in Japan

## 取り付け/接続部品(付属)

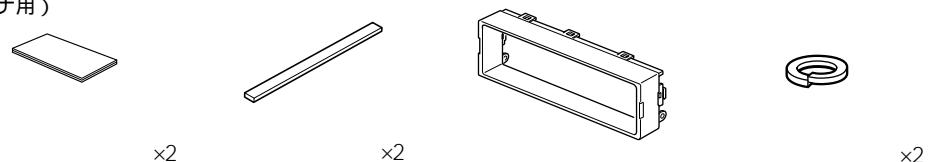
①マジックテープ ②TVチューナーユニット ③本体用電源コード  
用電源コード(2.5 m) (0.25 m) ④アースコード(0.5 m)



⑤圧着式コネクター ⑥⑧K5×6ネジ ⑦⑨T5×6ネジ ⑩日産車用プレート ⑪FMトランスマッターアンテナ(2 m)

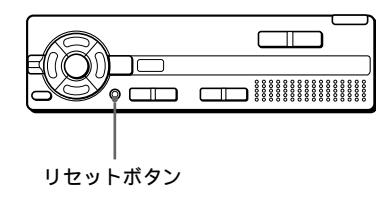


⑫両面テープ(FMトランスマッターアンテナ用) ⑬ワッシャ(6) ⑭フロントパネルプレート ⑮リセットボタン



## 取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電気部品が正しく動くことをお確かめください。
- 正しく動作させるために、必ず本体にあるリセットボタンをボールペンの先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●ナビダイヤル ..... 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

●携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311

●Fax ..... 0466-31-2595

受付時間: 月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00



# 取り付け

## 本機(モニター)を取り付ける前に

本機(モニター)は安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと事故の原因となり大変危険です。

取り付ける前に、必ず下記事項の確認を行なってください。

- ・モニターをセットしたときに、エアコンの吹出し口の近くのときは吹出し口を閉じてください。
- ・本機はイグニッションキースイッチにアクセサリー(ACC)ポジションのない車には取り付けられません。
- ・モニターをセットしたときに、ハザードランプスイッチなどがモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- ・本機(モニター)は極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

## センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとに本機(モニター)を取り付けられます。取り付け可能車種はお買い上げ店にお問い合わせください。

お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

### ご注意

・本機はローディング機構を搭載しているのでシャーシを歪ませて取り付けると正常に動作しない場合があります。この場合はシャーシが歪まないように再度取り付けネジを締め直してください。

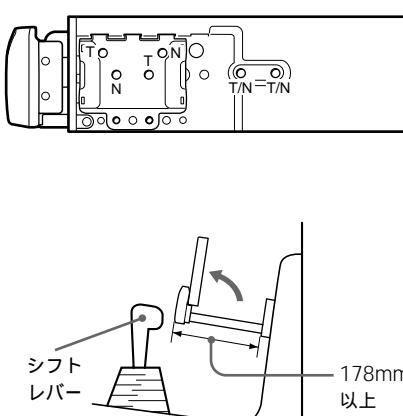
・純正ブラケットを本機(モニター)に取り付けるとき、本機(モニター)側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用)N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ⑥または⑦で取り付けてください。

・別売りのGMD-235を使用する場合は、付属のワッシャ⑩とネジ⑥を使用して金具を取り付けてください。

・モニターのセット/収納のためには、シフトレバーからモニターのフロントパネル部まで178mm以上の間隔が必要です。

・シフトレバーの位置によっては、フロントパネル部が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに運転の操作の妨げにならないことを確認してください。

・本機(モニター)とマスターユニット(1DINサイズ)を重ねて取り付ける場合は、本機(モニター)を上段に取り付けます。

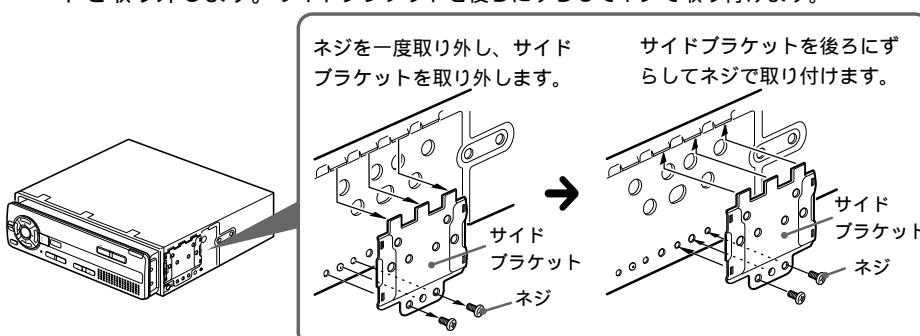


### 1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機(モニター)を取り付けます。

### 2 本機(モニター)の後部が車両側に当たるときや、セットしたモニター背面部がセンターコンソールに当たるときは、取り付け位置を移動させる。

本機(モニター)の両側に取り付けられているネジを一度取り外し、サイドブラケットを取り外します。サイドブラケットを後ろにずらしてネジで取り付けます。



### 3 本機(モニター)を取り付ける。

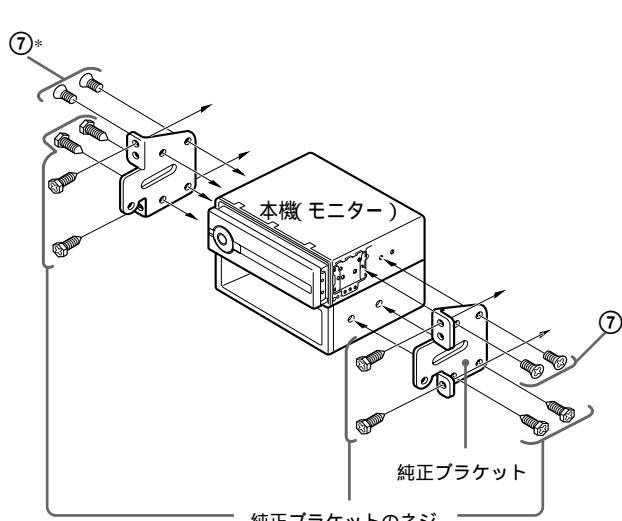
接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

#### ご注意

- ・本機(モニター)のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- ・本機(モニター)の上部に物をはさみ込まないでください。

#### トヨタ車/三菱車の場合

(イラストはトヨタ車の場合)



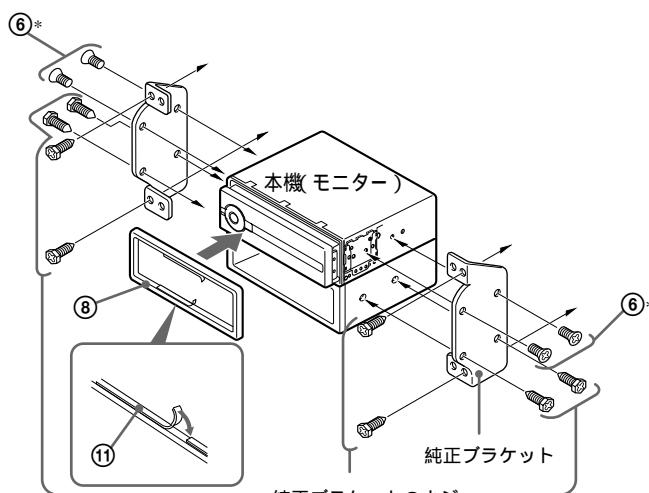
### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずすむようにセンターコンソールやインダッシュのなるべく高い位置に取り付けてください。2DINサイズの場合は、必ず上段に取り付けてください。

### 取り付け角度

水平から25°以内で取り付けてください。25°以上傾けて取り付けるとモニターのセット/収納ができないなどの原因となります。

### 日産車の場合(手順2でサイドブラケットを前のままにしたとき)

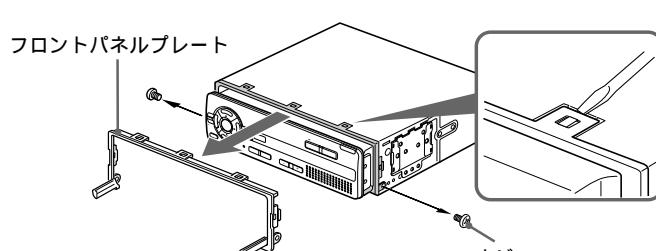


### 日産車の場合(手順2でサイドブラケットを後ろにずらしたとき)

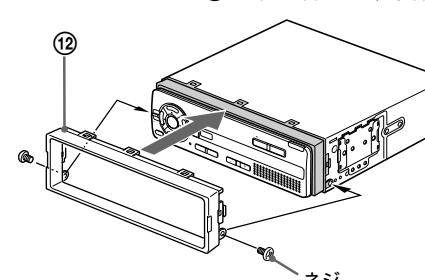
- 3-1 本機(モニター)のサイドブラケットを取り外し(手順2を参照)両側に取り付けられているネジを取り外してフロントパネルプレートを取り外す。

#### ご注意

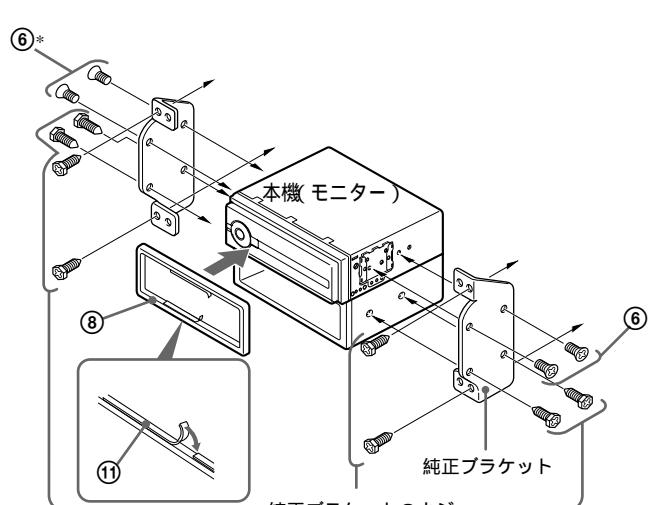
フロントパネルプレートは破損しやすいので無理に引っ張ったりしないでください。



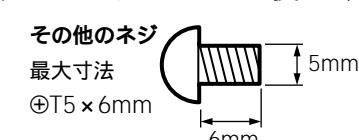
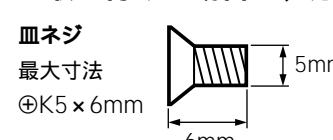
- 3-2 フロントパネルプレート⑫を取り付けて、両側のネジで固定する。



- 3-3 本機(モニター)のサイドブラケットを取り付け(手順2を参照)日産用プレート⑧を取り付ける。



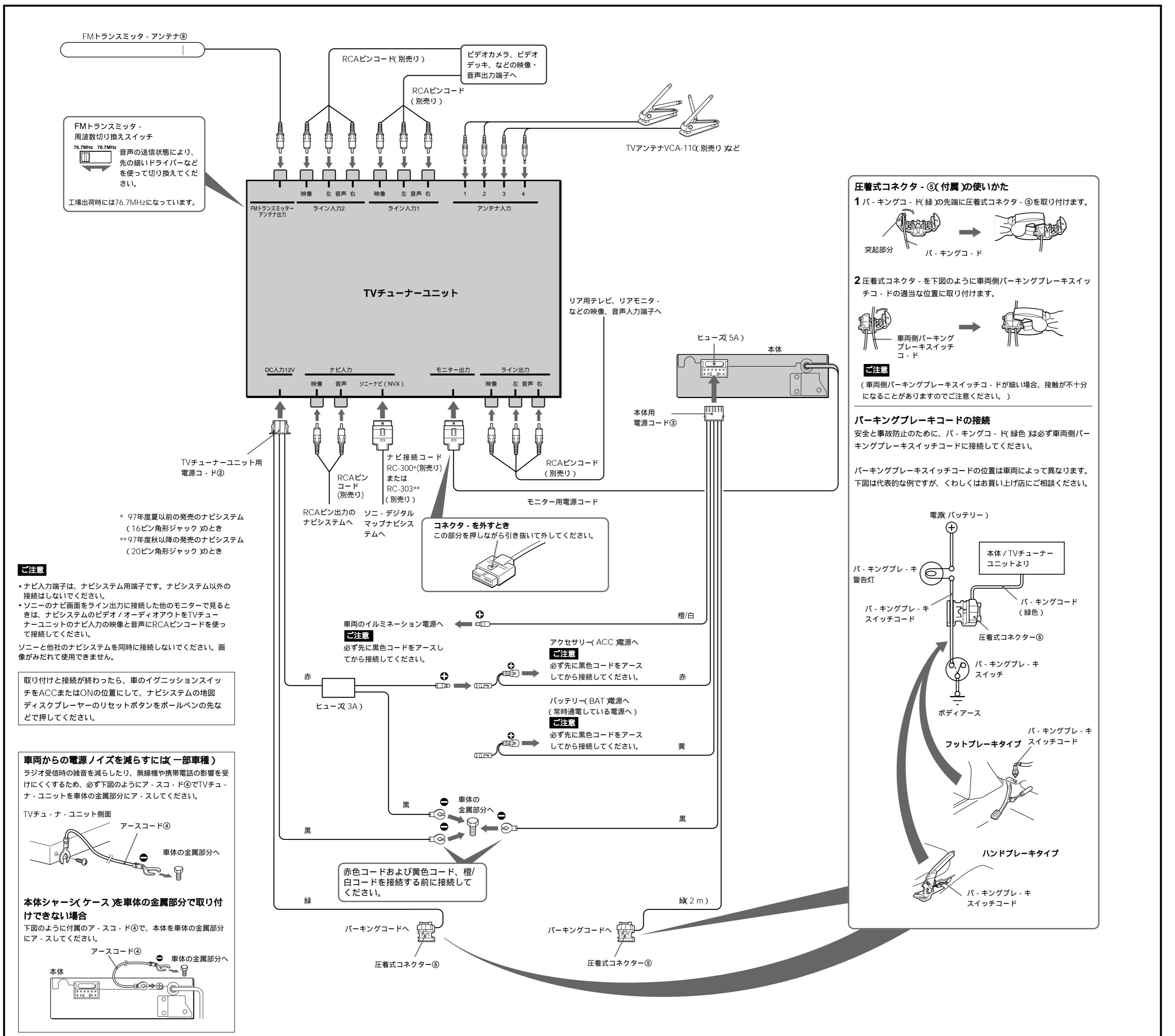
\* 必ず付属の皿ネジ⑥またはトラスネジ⑦で取り付けてください。他のネジで取り付ける場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。



これらより長いネジを使うとモニターのセット/収納ができないなどの故障の原因となります。

# 接続

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



## ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故を防ぐため、電源コード(赤色コードと黄色コード、橙/白線コード)の接続は、接続作業の最後に行なうか、バッテリーのマイナス端子を外してから行なうようにしてください。

ただし、ドライブコンピューター カーオーディオ、ナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子を外すと、ドライブコンピューター カーオーディオ、ナビゲーションコンピューターのメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

## 電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリー(ACC)電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。
黄色コード	バッテリー(BAT)電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
橙/白色コード	イルミネーション電源入力コード 車のヘッドライト(スマートランプ)スイッチを入れたとき、本機の画面が滅光します。
緑色コード	セーフティードライブ用コード 車のパーキングブレーキコードに確実に接続してください。

## ヒューズ

・本体の背面や、TVチューナーユニットの電源コード間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

・電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側 純正ラジオ用バックアップ電源のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。

## FMトランシミッターアンテナの取り付け

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。  
FMトランシミッターアンテナのコードは乗り降りの妨げにならないように処理してください。

**両面テープ①でカーアンテナ(FM/AM用)の近くに取り付ける。**

<b>ご注意</b>	・取り付けるときは電源をOFFにしてから行ってください。
	・放送局の送信アンテナに近い場所や車両のFMアンテナの位置、断熱ガラスを用いた車両では良好に受信できない場合があります。
	・出力はステレオ音声です。
	・取り付け面の汚れをふきとってから取り付けてください。

## FMトランシミッターアンテナの動作確認をする

付属のFMトランシミッターアンテナを接続したときは、次の手順でカーオーディオからテレビの音声が出来ることを確認してください。

- 1 本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。  
モニターがセットされて映像が映ります。
- 2 カーオーディオのFMチューナーの電源を入れる。
- 3 カーオーディオの受信周波数を合わせる。  
TVチューナーユニットのFMトランシミッターアンテナ周波数切り替えスイッチで切り換えた周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。

## TVチューナーユニットの取り付け

助手席の下やトランクルームなどに取り付けてください。

**マジックテープ①でカーペットなどに取り付ける。**

取付け面をきれいにしてから取り付けてください。  
トランクルームに取り付けるときは  
別売りのトランク取付キットRC-550MP  
モニター延長コード(4m)と電源接続コード(5.5m)をご使用ください。

<b>ご注意</b>	・直射日光が当たる場所やヒーターの熱風を直接受けける場所など温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。
	・ナビゲーションシステムと組み合わせてお使いになるときは、TVチューナーユニットと地図ディスプレイ(別売り)は、できるだけ離して設置してください。ナビゲーションシステムの近くに設置するとテレビ画像に影響が出ることがあります。